

## 大田区立馬込小学校 第4回 学校運営協議会 議事録

令和8年1月23日(金) 18:00~

大田区立馬込小学校 会議室

参加者	佐藤 達雄	会長	スクールサポート会長
	込戸 安雄	副会長	PTA 顧問会会長
	大串 晴代	委員	スクールサポートコーディネーター
	伊藤 圭子	委員	同上
	加藤 節子	委員	同上
	高橋 幸子	委員	馬込東三丁目町会
	三好 雅文	委員	東馬込町会
	青木 秀康	委員	馬込宮ノ下町会
	樫 三枝子	委員	同窓会長
	山内 雅仁	委員	馬込小学校 PTA 会長
	池田 北斗	委員	馬込特別出張所長
	山本 秀一	委員	馬込小学校長
	下地 宏昌		馬込小学校副校長
欠席者	保坂悠梨子	委員	青少対馬込地区委員会

### 次第及び議事、協議の概要

#### 1 会長挨拶

馬込小学校の教職員の皆様、地域の皆様にあらためて感謝申し上げます。

本日は、学校評価について学校から説明していただき、適切に評価をしていきたいと思う。

#### 2 校長挨拶

大変寒い中ありがとうございます。

今年度最後の学校運営協議会となる。会長のお話の中にもあったように、今日は馬込小学校の1年間を総括し、学校評価としてご意見をいただく会。後ほどアンケートの内容にも触れるが、地域の方々がいかに学校教育に関わり子どもたちにより影響を与えてきたかが再認識できてうれしくなった。今日はぜひ実のある評価をいただけると幸い。よろしく願いいたします。

### 3 令和7年度学校評価の結果について

(副校長より保護者アンケートの概要説明)

保護者からのアンケート回収率85%

肯定的回答率が昨年度と比べてすべての項目において、+評価であった。

「1 お子さんは楽しく学校生活…」、「2 お子さんは基礎的な学力を…」、「3 お子さんはやさしく思いやりのある…」、「8 学校は児童の基本的な生活習慣…」、「9 学校は児童の体力向上…」、「12 学校は児童の安全・安心…」、「13 学校は、地域と連携した…」、「15 家庭では基本的な生活習慣…」の項目は、肯定的回答90%以上の特に高い評価をいただいた。

「6 学校は英語に…」の項目は72.5%と低めだが、昨年度より+6.2ポイント、「7 伝統文化・多様な文化」の項目は+7.2ポイントと大きく上昇した。いずれも昨年度は「わからない」の回答が非常に高かったので、学校では授業場面やホームページによる紹介等で「見える化」に努めた。

保護者からは非常にたくさんの自由意見をいただいている。この協議会ではすべての意見を紹介するが、保護者に配布する資料は紙面の都合もあり代表的な意見を抜粋したものにす。抜粋の仕方が適切かも含めてこの協議会で確認し、ご意見があればいただきたい。

※ この後、自由意見の一部読み上げと解説。

(校長より、児童アンケートの結果について)

保護者アンケートと同じ時期に児童にもアンケートを実施した。これは児童の意識調査であり、実態と必ずしも一致しないところもあるかもしれないが、意識というものもとても重要。学年別の資料は校内用だが、学校全体の集計結果は馬込だより3月号で家庭・地域にもお知らせすることになっている。

特徴的なところを4項目紹介する。第1に「7 自分や友達のことを大切にしている」は、肯定的回答率が全学年90%以上ととても高いが、学年が上がるにしたがって上昇していることに注目したい。学校生活を通して、自己肯定感や他者を思いやる心が伸びていっているのは素晴らしいこと。第2に「8 運動が好きですすんで体を動かしている」では、特に上の学年の低さが目立つ。これは全国的にも同じ傾向があるものの、児童の運動習慣の改善に努めたいところである。第3に「10 学校や地域のことが好き」では、特に3年生と6年生が高い。3年生は、この学校運営協議会や地域の方々と連携して取り組んだ「馬込クリーン大作戦」、6年生はおたの未来づくり「地域の創生」で馬込特別出張所の方々と授業パートナーとして取り組んだ学習があった。連携・交流活動が実を結んだ成果として捉えることができる。とてもうれしい。最後に「5 いろいろな人にすすんであいさつをしている」の肯定的回答が思いのほか低く、気になる。これは年々下がってきている項目でもある。日頃の登校の様子を見ると、あいさつは比較的良好にできていると感じているのになぜか? 「いろいろな人」にはできていないのか、自分からすすんで行くことは不十分と感じているのか、また児童自身の「望ましいあいさつ」の基準が高くなってきているのかもしれない。いずれにしても「馬込生活スタンダード」の第1に掲げているあいさつについては、今後よりよいものできるように指導していきたい。

#### 4 令和7年度の学校評価についての意見聴取と協議

(2つのグループに分かれて協議)

##### ○ 代表発表 三好委員より

児童に気付きを与えるという点を学校の大切な役割としてもっておく必要があるだろう。

家庭環境や地域環境の文化の成熟具合が、児童の日頃の言動につながっている部分があるので、全体の底上げが必要。

アンケートの見方、理想と現実のギャップを感じた方が回答しているという見方があるのではないか。

##### ○ 代表発表 青木委員より

あいさつの話が課題として話題に上がった。学校の教職員の感じ方と違い、地域の者からすると、特に高学年になるにしたがってあいさつをしなくなる傾向を感じることもある。児童と地域との関係性も課題としてあるのではないか。

保護者アンケート16のPTAに関する回答は、昨年度より上がったとはいえ、他の項目と比較すると腰が引けている感じを受けてしまい残念に感じるが、各家庭の状況も昔とは違う。それぞれの事情があるので仕方がないところもある。

(校長より)

(自己評価報告書記入にあたっての説明)

協議内容も含め、自己評価報告書の学校運営協議会欄への記入と本校へのご提出は、宿題として各委員の皆様にご2月中旬を目途にお願いしたい。学校でとりまとめたものを再度確認していただき承認をいただき、今年度中に学校ホームページ上に公開するとともに、大田区教育委員会に提出する。

#### 5 来年度の予定について

(副校長より)

現時点で検討している来年度の予定を確認していただきたい。

3学期保護者会のときに、各家庭にお知らせする。

#### 6 その他

##### ○ 校長より

開門時刻前の児童の待機受け入れについて大田区が計画している。教員の勤務時間外となるため、児童管理はシルバー人材センターへの委託となるようである。現在人材集めに入ろうとしている。

次年度の学校運営協議会の委員委嘱について、今年度の体制を基本として考えていきたい。正式な委嘱は4月だが、内諾をいただくためのご連絡をする場合がある。その際は前向きにご検討いただくとありがたい。

○ 大串委員から

スクールサポートが取り組んできた日本漢字能力検定協会の漢字検定(学校会場)に取り組んできた。1月31日の検定受験129名の予定。これまでの取組で学年の半数程度が、受験経験あり。小学校にいるうちに積極的に。

他にも、土曜英語教室、理科教室、またおことについても来年度もやっていただけそう。児童にはすすんで参加してほしい。